



さくらい

児童数470名「何でも挑戦！（自立）仲間とともに！（協働）」

【学校教育目標】
○進んで考える子
○思いやりのある子
○健康で明るい子

桜井小HP→

毎日更新中



自分の体の状態を知ること、怪我や病気を防ぎましょう！

校長 漆崎 英二

2024年の野球の話題といえば、大谷翔平選手一色でしたが、年が明けてからもう一人、忘れてはならない元メジャーリーガーのうれしいニュースが飛び込んできました。小学生の子供たちにとってはもう古い過去の選手となってしまったのでしょうか。そう、イチロー選手のアメリカ野球殿堂入りのニュースです（前の週には日本でも殿堂入りを果たしています。すごいです！）。

あえて「元選手」でなく「選手」としました。理由があります。あるテレビ番組で、現役も終盤に差し掛かったイチロー選手に「年齢による衰えはないのか？」と質問したところ、「年齢による衰えがイチローにもあってほしいと思う人が多いだろうけど、これから私の絶頂期が来るってどうして考えられないのだろうか？」と答えているシーンを見ました。実際、現役を退きチームのインストラクターとして現役選手を指導する立場となった現在でも、球場に行くとき、自分が練習を始め、試合前には守備についてノックを受ける。現役選手と同じようにトレーニングも行うそうです。おそらく自身も「生涯現役」の気持ちでいるのではないのでしょうか。日本で野球の指導を受ける高校生や小さい子供たちは、そろって「イチロー選手」と言っていますが、同年代で同じ野球人生（若かりし頃）を送った私にとっても、やはり「イチロー選手」なのです。



そんなイチロー選手について、オリックス時代に一緒にプレーしたことのある田口壮元選手は、こんなことを言っています。「安打数（通算4,363、10年連続200、ともに歴代1位）がよく注目されるが、実は前提となる試合数・打席数がすごい（試合数通算3,604歴代1位、打席数通算14,832歴代2位）。体への負担は相当のものだったはずだが、そういった環境で結果を残し続けられたのは自己管理のたまものだろう」と。また、やはり一緒にプレーしたことのある長谷川滋利元投手は、「30球団の中でいちばん移動距離が長いマリナーズ。彼には、そこでずっと活躍できるスタミナがあった。移動のときにはすぐに寝ていた」と言っています（ともに読売新聞のインタビューより）。

イチロー選手は、怪我をしないことで有名でした。もちろん練習を大切にしていますが、それ以上に、試合で最高のパフォーマンスを発揮できるように、自分の体の状態をよく理解し管理することを最重要視していました。例えば、連日の試合で身体が疲れているのに、無理な練習を重ねたらもっと疲労がたまってしまう、せっかくの技術も発揮できないと考えていたのです。私もそうでしたが、野球選手がシーズン中に調子が悪くなると、試合後にも夜遅くまでバットを振っているというのはよくある話。でもイチロー選手は違いました。もちろん人によっては、バットを振った方が復調につながるという場合もあるでしょう。どちらにしても、自分の体のことをよく分かっているということは、よりよい結果を生み出すために重要なことであるということには違いありません。

確かに、日米通算4000本安打という偉業は、怪我や病気をせず、試合に出続けてきたからこそ生まれた記録。いつも体の調子を万全に整えられるよう、自分を律する（自分で決めたことをやる・気分流されず自分のベストを尽くす）心を、イチロー選手は持ち続けていたのでしょう。



さて、2月の生活目標は「かぜに負けないじょうぶな体をつくろう」です。まずは自分の体のことをよく知しましょう。何分間なわとびを跳び続ける（引っかかってもよい）ことができるかな？両足をまっすぐ伸ばしたまま上半身をどこまで曲げられるかな？昼間元気に生活できるよう睡眠時間がたっぷりとれているかな？自分の体の状態を知ること、怪我や病気を未然に防ぐことができ、また、丈夫でよい状態に保つことができます。さあ、寒さに負けず、運動に挑戦！仲間とともに！

2月の生活目標「かぜに負けないじょうぶな体になろう」

1月の生活目標達成率(ていねいな言葉づかいをしよう)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	さくらんぼ
87%	98%	98%	97%	93%	91%	100%

2月の主な行事

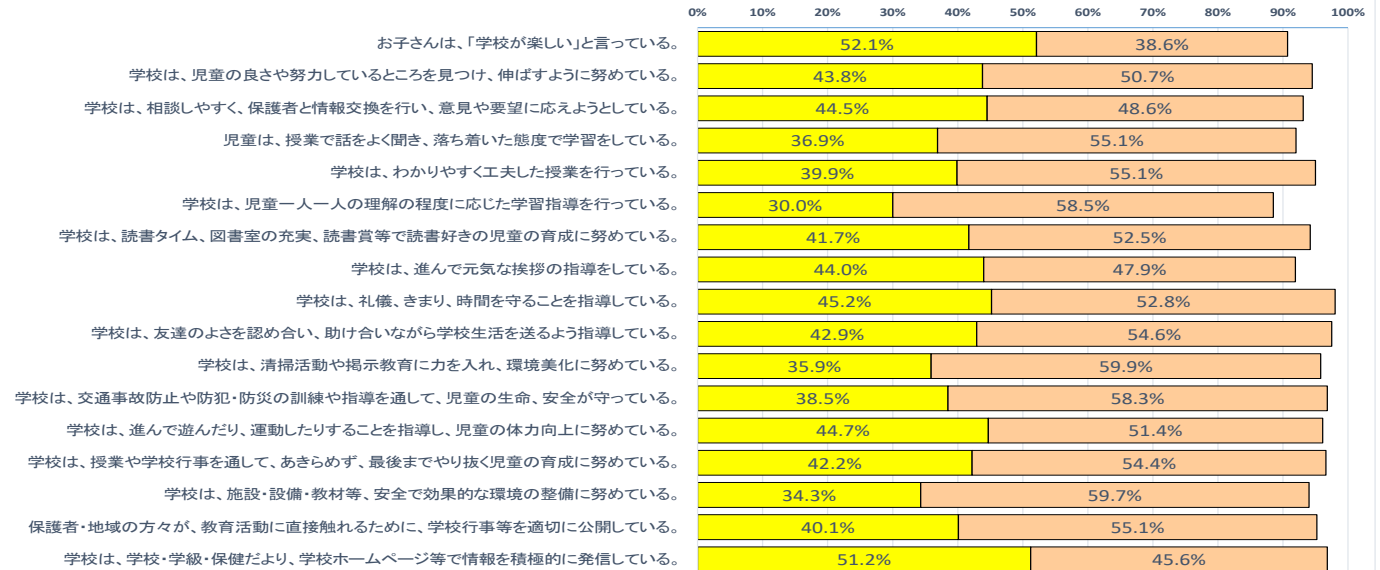
日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
4	火	選択給食	18	火	月金日課5 音楽発表会・懇談会(3・5年) 4～6年県学調 CBT 体験調査(午前) 環境ボランティア(遊具ペンキ塗り)
5	水	6年こども能楽劇場(午前、お弁当)	19	水	月金日課5 図書ボランティア 音楽発表会・懇談会(1・2年)
6	木	委員会⑩ 5年ネットモラル教室(5校時、体育館)	20	木	月金日課4・5 クラブなし 音楽発表会・懇談会(4・6年)
10	月	6年中学校入学説明会(給食なし) 中学生と語る会 6年12:20下校	21	金	月金日課5 一斉下校 3学期口座引落日 通学班仮編制・一斉下校(5校時)
12	水	保幼小連絡会議(午後)	25	火	全校朝会3月(表彰)
13	木	1・2年4時間下校 感謝の会(業前) クラブ⑭(3年クラブ見学②) 2年プログラミング授業9:30～12:30 先生の助手体験プログラム(～21日)	26	水	第3回学校運営協議会9:10～ さくらんぼ授業参観(4校時、懇談会無し) 体育館ワックスがけ(業者)15:00～
14	金	3年5時間授業(クラブ見学振替②) 5年出前授業⑧(5校時)	27	木	1・2年4時間下校 クラブ⑮(今年度最終) キャリアパスポート振り返り記入(業前) 2年交通安全教室(3,4校時)

学校教育に関するアンケートのご協力 ありがとうございました

12月にすぐるにて配信しました、令和6年度学校評価に係る「保護者アンケート」において、ご協力いただきましてありがとうございました。集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

ご回答いただきましたアンケート結果を十分に分析・検討し、これからの桜井小学校における教育活動に生かしてまいります。今後とも、本校の教育活動について、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校評価(保護者アンケート)



保護者アンケート 主なご意見

※多くいただいた意見等を抜粋し、常体の文に統一して掲載しています。

<学習指導・生活指導に関して>

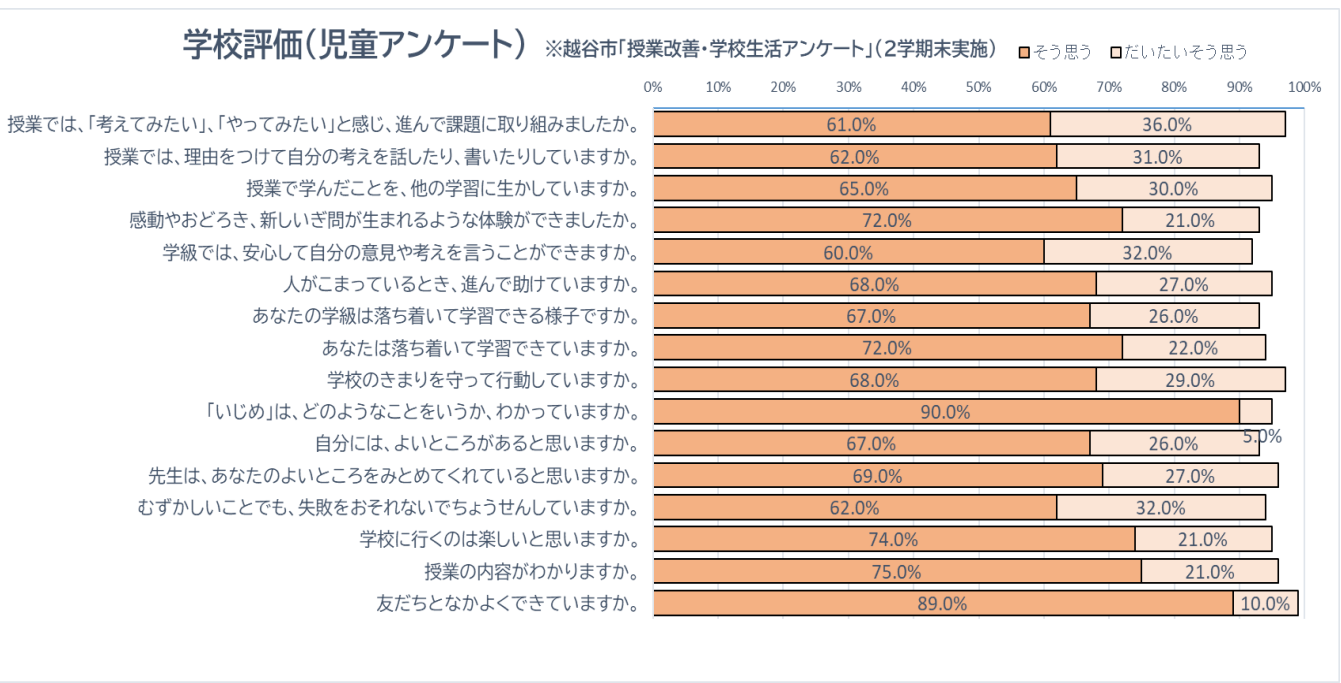
- 担任の先生が子供一人一人のことを考えてくれており、授業も学校も楽しいと子供から聞いているため、非常に感謝している。
- 担任の先生が子供の対応に親身になってくれる。寄り添った指導をしていただき感謝している。
- 授業で手を挙げたほとんどの子に発表の機会を与えていた。子供の個性を見て、伸ばしていこうとする印象を抱いていた。
- 1人1人をよく見てくれ、できなかったことができたときも最初からできたときもそのつど褒めてくれてとてもありがたい。帰りの会でのキラキラさんもととてもすてきで、子供たちの向上心も高まると思う。
- 算数の自分に合ったグループ分けはとてもよいと思う。
- 算数は計算ドリルが復活し、子供も分からないところを聞きにくるようになった。親としても子供の苦手を把握できてありがたい。
- 読書ビンゴスタンプを集める。さくらんぼ賞で友達のよいところを伝える活動がよかったと子供がうれしそうに話している。
- 「さくらいタイム」で他学年と交流する時間を楽しみにしている。今後も継続してほしいと思っている。
- ▲授業参観など学校に入れる機会が少なく、学校生活の様子がわかりにくかった。特に1年生は、1学期の早い段階で実施してほしい。
- ▲算数の少人数学習では、もう少し難易度が高い問題に取り組みたいと子供が希望していた。
- ▲元気よくあいさつができない子もいる。あいさつは基本で大事なことから、引き続き学校でも指導してほしい。

<学校行事に関して>

- 持久走大会は、子供たちの体力向上のためぜひ継続してほしい。
- 運動会は半日の開催が親子共々の負担が小さく、ありがたく思っている。
- 社会科見学先が子供も楽しく、意義のある見学先だったと思う。林間学校も短い時間ながら充実した内容でよかった。
- ▲持久走大会について、参観・応援が可能なのであれば事前に告知してほしい。見に行ってもよいかわからなかった。
- ▲わかっている行事については早めに、正確な時間まで教えて頂けると助かる。

<その他、教育活動全般について>

- 学校全体の雰囲気がよく、子供たちに関わる先生方の連携や共有がよくされているところが、保護者として安心できる。
- 付き添いボランティアをさせていただき、我が子に限らず、学年の子供たちの様子が知れ、また積極的にコミュニケーションを取ってくれる子供たちとは交流もできた。
- ホームページで日々の様子を写真入りで公開されていて、子供との会話の良い材料となっている。
- 廊下や教室の掲示は、いつも違っていて、学校へ行く際は見るのが楽しみである。
- ▲トイレを全体的に、きれいに改装してくれると嬉しい。
- ▲すぐーるの欠席連絡の締切時間について、早すぎると思う。少なくとも登校するタイミングまでは入力できるか、例えば別のメニューなどから緊急連絡ができるようにしてほしい。
- ▲週の予定表をホームページに掲載はありがたいが、日曜日までにはアップロードしてほしい。(週末休むと予定がわからない。)
- ▲教室に入りづらいと感じているなど、あらゆる児童に対しての心のケア・フォローをする環境・体制を充実させてほしい。



今年度は、17項目中16項目において、「そう思う」「だいたいそう思う」の合計が90%以上と、高い評価をいただきました。これも、子供たちの努力と地域や保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそと感じております。一方で、90%を割った1項目については、子供たち一人一人の理解の程度に応じた「確かな学力と自信をつけさせる学習指導」に、これまで以上に力を注いでまいりたいと存じます。

学校や教職員に対し、温かく励みになるご意見・ご感想を多数いただきました。重ねて感謝申し上げます。今後も引き続きご支援をお願いいたします。